

緑の宝



2007
新年号
No.41



第1回富士山百景写真コンテスト 富士山の風景 銀賞「朝光に染る」小林清氏(富士市) 写真提供:富士市

目 次

会長あいさつ	P2
知事あいさつ	P3
環境森林部長あいさつ	P4
第33回県建設業労働災害防止大会で 2名が功労賞を受賞	P5
平成18年度建設産業構造改善推進のつどいで 知事顕彰	P5
技士会だより 静岡県造園施工管理技士会技術研修会	P6
第8回緑・花文化の知識認定試験	P6
環境緑化系インターンシップで今年も成果 (県立静岡農業高等学校)	P7~9
静岡県環境森林部自然ふれあい室 第4回しづおか環境・森林フェアの開催報告 「銀世界の森観察会」～県民の森～ 森の力再生事業の実施状況	P10
静岡県農業水産部みかん振興室 「浜名湖フラワーフェスタ2007」の 開催について	P11
静岡県都市住宅部公園緑地室 県民参加でチューリップ8万球を植え付け ～吉田公園チューリップドリーム～	P11
話題の森・お知らせ	P12

会長あいさつ



(社)静岡県造園緑化協会会長

片桐利男

新年あけましておめでとうございます

前会長様には参りませんが、極力努力する所存でございます。
さて、今年度運営委員会長が辞任され、定款第十三条一項により、私が任期間会長を務める事になりました。何分にも初めての事であり、戸惑っている所です。

付きましては、理事・会員の皆様方の後押しと御理解を頂き、一步一步進んで参りました。いと考えておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

造園業界も苦難の道を歩んでおりますが、初心を忘れず、造園緑化協会の目的である緑豊かな国土づくりに貢献すべく、造園技術の向上に努めていきたいと思います。そして、さらに公園工事に係る土木工事・建築工事も出来る様、会員の皆様の今一度の努力が必要ではないでしょうか。

昨今、公共工事の経費削減・縮減等遼しさが増しております。

そんな状況に来ております。
私達の力を発揮する機会さえ無くなりつつあるのが現状です。

景気は専門的に回復していると言わざりりますが、その中身は皆相手有知のところ
り産業間、地域間の大小格差等が歴然としております。

来年度も、三%公共予算が抑制される様ですが、大型工事は暫く控えて疲弊しきつた地方中小建設業に振り向けて頑ける様、私なりの願いです。

いまだに低入社傾向が続いております。売上高実績はピーカ時に比べて四〇%のダウンであり普通作業員の年収の低下は著しいものがあります。

生活費を加味し、働く方が非常に厳しく賃金水準や労働条件の中にいるということとで、この問題はダンピングも含め、今後も全体的な構造改善に対しても業界一丸となり銳意努力する必要があると思われます。

程達は社会資本整備担当手として雇用確保の推進に欠かせない大きな役割を持つています。

前に述べたように受託業者との連携などにより、かえてなくして新規事業にあります。各企業が徹底したコスト削減に努力するのも元々、再生・再編・新分野への進出などを、経営革新に懸命に取り組んで、卒業の若者たるどんぐりに定着できる業界へ進むものです。静岡県園芸緑化協会は四〇周年も終わり、四十一周年目に人づてております。

今井の三次音見三日黒、只今はありませぬ、田の三月八日

今までの定期手帳規定が悪い調子にはありますんが四年の年月が過ぎております

今一度、会員の皆様方の御意見を同一、不備などころがあれば見直す必要があるので

はおひやくよう）。そして、支那見定の全部が同様である。どうが、出来る。

はないとし、それがそれで、支給規定を全部が同じとはいかないでしょが、出来るた

け近いものができればとおもいます。

今、士事は少なく会員の退会が昨今、多くなりつつあります。

金言集卷之三

ます。 仕事だけにとらわれず、業界の員であるということを認識していただき、会員としての誇りを持ち、技術向上につとめ、尚、会員の増強に努めることが大切だと思われます。

先行き造園業界が激しい状況の中で、温暖化・大気汚染等の対策は我々に追風が吹いているかもしれません、公共工事の減少・低価格競争等いろいろな問題が待っています。

ここ一番会員の皆様も知恵を出して乗り切らなければなりません。

過去にとらわれることなく、環境緑化と社会に貢献出来る様、時代にあつた意識向上を図り、新しい目的に向かつて会員全員結束して前進していくなければなりません。

今後会員の皆様方に御支援・御協力を賜り努力していきたいと思います。
最後に、静岡県造園緑化協会・会員皆様方の益々の御発展と、御健勝をお祈りして
新年の御挨拶とさせていただきます。●

新年の御挨拶とさせていただきます

知事あいさつ



静岡県知事

石川 嘉延

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、それぞれ新年の抱負も新たに、すがすがしい年を迎えたこととお慶び申し上げます。また、日ごろから本県の環境緑化行政の推進に多大なる御尽力をいただき、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、今年一年の静岡県政を見通してみますと、昨年の「ねんりんピック静岡2006」開催に引き続き、本県をアピールする絶好の機会があります。十一月には、2007年ユニバーサル技能五輪国際大会の開催が予定されており、各國から多くの来静者をお迎えすることで、大会はもとよりユニアーバーサルデザインの推進を掲げる静岡県の姿勢やあり方に、世界が注目する大会になるものと考えております。

また、富士山の世界文化遺産登録への気運が高まる中、富士山の歴史や

周辺の自然環境、また文化や信仰などの面において、山梨県と協力して検証を重ね、世界遺産候補とする暫定リスト素案を昨年十一月に文化庁に提出するなど、登録へ向けて着々と準備を進めているところであります。

このように、美しく雄大な富士山を擁している本県の特性を最大限に活用し、世界を視野に、これまで以上に効果的な事業活動の展開に努めてま

いりたいと思いますので、引き続き皆様の御協力をお願いいたします。

一方、県政の中長期的な課題と今後の取組を示すため、平成十四年に静岡県総合計画「魅力ある“しずおか”2010年戦略プラン」を作成し、一〇年間の県政の中長期的な課題と取組みを明らかにし、県民の皆様との協働により計画の着実な推進に努めてまいりました。その間に、少子高齢化が一層進展し、国における内政構造改革や市町村合併による地域の構造変化などの激しい変化が見られました。

そこで、この社会の変動的確に対処していくため、総合計画審議会における中間検討の結果、十八年三月末に「静岡県総合計画」の後期五年計画を策定いたしました。

併せて私たちの環境や農林水産業の道標となる「静岡県環境基本計画」及び「静岡県農林水産業新世紀ビジョン」を改定いたしましたことで、総合的な見地から県の施策の推進方向を明確にし、施策を本格的に軌道に乗せる取組を開始しております。県民の満足度を最大限高めるため、「県民くらし満足度日本一」を目指に掲げ、自然との共生を図りつつ、静岡県らしい郷土の保全と創造に向けた取組を推進してまいります。

そのためには、県民や企業、NPO団体の方々などによる協働が不可欠でありますし、暮らしの中で特に重視される環境緑化の分野において、専門的技能を有する貴協会員のお力を是非とも發揮していただきたく、期待申し上げます。

結びに当たり、今後とも、県政に対する皆様の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、貴会の御発展を心よりお祈りし、新年のあいさつといいたします。

部長のあいさつ



静岡県環境森林部長

府川 博明

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、希望も新たに、新しい年を迎えたこととお慶び申しあげます。

貴協会におかれましては、富士山静岡空港に関する調査及び植樹活動や、森の力再生事業へのご協力、また県内各地で開催されております緑の相談所の開設等により、本県の環境保全及び都市緑化のため、日ごろからご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

花や緑を通じたコミュニケーションや情報・文化の交流活動は、近年のガーデニングに対する関心の高まりとともに、住民参加による花と緑のまちづくりへと通じ、観光資源となつて地域経済活動へと発展したり、あるいは町並みや山並み全体を視野に入れた良好な景観形成への社会的要求へと変貌し、魅力あるふるさとの創造に取り組む自治体も増えております。

としてまとめられた「静岡県環境基本計画」の改定を行いました。その中で公共的施設や工場の緑化、県民の協働による「綠豊かなまちづくり」は、重要な施策として位置付けられております。例えば、新技術を活用した屋上緑化やビオトープの整備など、現代社会の構造に配慮した公共的施設の建設や改築、良好な道路景観の創出や道路騒音の緩衝等を目的とした道路の緑化をはじめ、街全体の景観に配慮した緑化工事の実施など、様々な視点から見た都市緑化事業を行っております。併せて、一昨年改定いたしました「静岡県緑化推進計画」に基づいて、山の緑・里の緑・街の緑・水辺の緑と、それぞれの場所にふさわしい緑の景観とはどういったものかを考慮した上、それらを守り育てる実践的な人材の育成をも含めた、トータルな県土緑化の推進を図つてゐるところであります。

また、県では県民の皆様のご協力により本年度当初から開始いたしました「森林づくり県民税」を原資とし、土砂災害の防止や水源のかん養等に代表される「森の力」を回復させるため、緊急に対処が必要とされる森林の整備を行う「森の力再生事業」の推進に取り組んでおります。また、自然を愛するボランティアの方々が、竹林の生い茂る暗い林から、幼い頃遊んだ生命豊かな里山の再現のため、地道な活動を行つていただいている場所もあります。「快適環境空間しずおか」の実現のため、県民や企業など、皆が協働して努力を重ねていくことで、富士山のふもと、静岡県の自然共生型社会を将来の世代に継承してまいりたく、日ごろから緑化技術の研鑽に努めています。

結びに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、「あいさつ」といたします。

第三十三回 県建設業労働災害防止大会で二名が功労賞を受賞



喜びの中澤正義氏(左)、澤西一肇氏

建設業労働災害防止協会県支部

(伊藤孝支會長)主催の第二十三回

県建設業労働災害防止大会が九月

二二〇日、静岡市葵区の「じぎんホ

ール」で三八〇人余の支部会員を集

めて開かれた。大会では労働灾害

防止に大きく貢献した中澤正義氏

(株)大綱造園 協会会員)、澤西

一肇氏(株)小林土木緑化 協会

会員)の両名ほか十六名が功労賞

を受賞したほか事業場賞、事業者

賞、功績賞などの表彰が行われた。

また大会では、安全標語、安全
考案作品の紹介、表彰や労働災害
○をめざす「安全の誓い」を全員
で朗誦するなど労働災害防止の誓
いを新たにした。●

受賞者紹介

中澤正義氏(株)大綱造園 協会会員)

昭和五十七年(株)大綱造園を設立して以来、
団つたばかり協会の労働安衛運動の推進を
団工事に対する労働災害防止に努めた。就業日
の危険予知項目の周知徹底と職場内一声かけあ
いの励行、三脚はしごの固定用ロープ器具の装
着化の工夫、下刈り作業時の防護ゴーグル、防
護エプロンの完全装着の励行など徹底した安全
対策の指導を執り四〇年以上にわたって無災害
を誇り、他の模範となっている。

澤西一肇氏(株)小林土木緑化 協会会員)

平成元年に(株)小林土木緑化に入社。社内
に「突発時指揮者制度」を独自に設置し倒木処
理等緊急時の危機管理体制を敷いているほか、
新規就労者、新規入場者などには毎日の安全バ
トロールで安全知識の教示、安全意識高揚に努
めている。また、第三者災害防止の觀点から地
元の登下校時間、行事などの情報を整理し作業
に反映させるなど地元とのコミュニケーション
にも配慮している。入社以来、無災害の実績を
残し、その取り組みは他の模範となっている。

平成十八年度建設産業構造改革 普及のつどいで知事顕彰

(社)静岡県建設産業団体
連合会伊藤孝会長(右)は(社)静岡

県建設業協会と合同で十月二
十七日、静岡市の静岡商工会議

所で「平成十八年度建設産業構
造改善推進のつどい」を開催し

た。集いでは静岡県優秀施工
者知事顕彰状授与式」と「社会

貢献活動功労者表彰状授与式」

が行われ優秀施工者知事顕彰

では建設産業関係が造園工事

部門の鈴木勉氏(右)緑香苑

協会会員ほか七名、建設業関
係七名が映えある表彰を受け

た。今年度から新たに設けられ
た「社会貢献活動功労者表彰」

には(社)静岡県建設産業団体
連合会会長表彰に四社、(社)静

岡県建設業協会会長表彰に五

社がそれぞれ受賞された。社会

貢献の活動内容は「ふれあい活
動」「社会福祉活動」「環境美化

活動」「災害復旧支援活動」など

で、各地域でそれぞれが多様な
社会貢献を果たしている。

引き続いて行なわれた講演で

は「五年後・一〇年後の静岡県

して、日本マルチメディア
アエキップメントの高

田守康氏が静岡県の産

業構造等の将来展望を

述べ、それに臨むわれわ
れの心構えを示唆し

た。●

受賞者紹介

鈴木 勉氏(右)緑香苑

平成十八年度建設

産業構造改善推進のつ
どいの席上(右)緑香

苑の鈴木勉氏が優秀施

工者知事顕彰の受賞者

として表彰されました。

おめでとうございました。

鈴木勉氏は造園建設業に携わって以来三十二
年、公園整備工事、道路绿化工事などの現場代
理人、主任技術者として現場の工程・安全品
質管理や現場指導に当つてきました。仕事に対
する熱意は勿論、後進の指導育成に努め部下、
会社にも信頼は厚い。技術力、指導力、管理力
に優れ、一級造園施工管理技士としてまた一級
造園技能士として現場の状況を的確に把握し
て、施工上の問題処理や現場管理にあたり、工
事成績評価も高い。



建設産業の発展をめざして集結した会員

技士会だより

静岡県造園施工管理技士会 技術研修会

正しい農薬使用・除草剤の上手な利用法



現場に密着した技術情報に耳を傾けて

労感謝の祝日にグランシップにお

いて会員約四〇名出席のもとに行

なわれた。講師は非営利活動法人

「郷里の自然を育む会」から「正し

い農薬使用と樹木の管理」講師

芦澤拙夫氏(元静岡県農業試験場

長)、「除草剤の上手な利用法」講

師 鈴木富氏(元静岡県造園試験

場栽培研究室)の二名の専門講

者をお招きし講演をいたいた。

善段、私たちは農薬・除草剤等

織り交ぜての説明を受け、大いに

知識を深めなぞと思われます。

場栽培研究室)の二名の専門講

者をお招きし講演をいたいた。

善段、私たちは農薬・除草剤等

織り交ぜての説明を受け、大いに

知識を深めなぞと思われます。

平成十八年十一月二十二日(動)

病害虫対策は一般的には書物

と体験で或る程度の知識は持つて

おりますが、病害虫の発生・拡散、

適応農薬・散布時期等の実績を分

かり易く、基本から専門的知識を

織り交ぜての説明を受け、大いに

知識を深めなぞと思われます。

画像をみせながらの細やかな説明
に参加者全員真剣に聞き入りま
した。
病害虫対策は一般的には書物
と体験で或る程度の知識は持つて
おりますが、病害虫の発生・拡散、
適応農薬・散布時期等の実績を分
かり易く、基本から専門的知識を

織り交ぜての説明を受け、大いに
知識を深めなぞと思われます。
特に農薬取締法の改正(03・
3・10施行)は罰則規定も強化さ
れており、防除作業中、人畜への
気配りはもとより、農作物に風等
により万が一わずかでも付着した
時は出荷日が近い場合は出荷でき
ない事態になり、その補償を求め
られる恐れがあります。

受検の案内板・教室の受験票の
はりつけ等の様々の仕事があり、
いつもながらの忙しさです。
十三時より受験者の入室開始、
十四時より試験開始で十五時一
〇分終了です。問題は八〇問
あり、五択より一つを選ぶ方
法です、すべてがカラー印刷
の問題で出題され、植物に関
係ある品名を答えたり、種子、
花、果実や葉の形、歌詞に出
てくる植物や農耕、神事、紀
行文、江戸時代の屏風等、
様々な出題でした。

静岡県造園施工管理技士会会長

望月 敏彦

数人受けいました。受験生は
一一四名でした。

公園緑地管理財団よりの委託を
受けて、東海大学短期大学部(静
岡市)の会場を借り、中部支部の
役員事務局五名にて試験監督を行

うも良い機会かと思ひます。

毎年行っておりますので十九
年度の受験に是非、挑戦してみ
て下さい。

Power Point のスライドショーの

源平 太

らされました。

私たち協会のメンバーも

「緑・花文化士」の認定をめざして



環境緑化系インターんシップで 今年も成果

（県立静岡農業高等学校）

●枝の片付けや除草作業は重要

大木 美和

この四日間初めての体験ばかりでした。初めは失敗を恐れて、なかなか思いきって剪定をする事ができませんでした。しかし、担当者の方や、社員の方がとても親切に教えてくださったので、完璧とは言えませんが、仕上げることができました。学校とは違い、一人で一本の木を仕上げたので、とても達成感がありました。（一・三日目）

船越公園茶室での作業が終った後、仕上げに本腰をこめていました。

この四日間を終えて、いろいろなことが学ぶことができました。

この四日間は、剪定作業、除草などの専門的な内容や、働くことなど多くの事を教えてもらいました。しかし、ほとんど枝の片付けや除草を行っていましたが、この作業がとても重要なことがわかりました。何気なくやっていた作業でした。何気なくやっていた作業も効かず、ただ立っているだけといたしました。しかし、私がどうやったのかわからなかった時、社員の方が優しく教えてくださいま

得、進路意識の高揚、産業人としての資質の養成を目的として、毎年当協会中部支部会員の職場等で最終日のボリュームセンター合同実習を含め四日間の実習を行なっているものです。本年は十九社が二年生二十九名を受入れました。夏の暑い過酷の条件下にあって苦勞の連続であつたかと思いますが、生徒も熱心に学習し自己研鑽に努めました。将来的な造園建設業を担う生徒がどんな想いを抱いたか、それぞれの感想文をいただきましたので一部を紹介いたします。

●造園という仕事はやりがいのある仕事

勝呂 あすさ

この四日間初めての体験ばかりでした。初めは失敗を恐れて、なかなか思いきって剪定する事ができませんでした。しかし、担当者の方や、社員の方がとても親切に教えてくださったので、完璧とは言えませんが、仕上げることができました。学校とは違い、一人で一本の木を仕上げたので、とても達成感がありました。（一・三日目）

船越公園茶室での作業が終った後、仕上げに本腰をこめていました。

この四日間を終えて、いろいろなことが学ぶことができました。

この四日間は、剪定作業、除草などの専門的な内容や、働くことなど多くの事を教えてもらいました。しかし、ほとんど枝の片付けや除草を行っていましたが、この作業がとても重要なことがわかりました。何気なくやっていた作業も効かず、ただ立っているだけといたしました。しかし、私がどうやったのかわからなかった時、社員の方が優しく教えてくださいました。



が和んでくれたら…。と思うと、とてもすてきな事だなと思います。この四日間とても貴重な体験をすることができました。四日間で学んだ事をこれから実習に生かしていくたいです。そして、夢にかなって頑張りたいです。

所を完成させることができました。最後の日には、キンモクセイ、ツツジ、カキの刈り込みを行いました。刈り込みは初めての作業だったのでとまどってしまいました。四日間通して学校では出来ないと多く体験できてとても良い経験になりました。

まず一日目と三日目に草刈り機の使い方を教えてもらいました。その後、実際にやってみた時は、草刈り機は地面と平行にして使うといふことからエジンのかけた草を左によせるのがなかなかできませんでしたが、自分が担当した場所を全て完成させた時は、すごい達成感があり綺麗になりました。二日目にはマツの剪定を行いました。マツの剪定は、やつたことがなくコツをつかみました。実際にやってみた時は、それが難しかったですが完成イメージを考えて剪定する



センリョウ

●完成イメージを考えた 剪定で達成感

近藤 電也

この四日間を終えて、いろいろなことが学ぶことができました。

この四日間は、剪定作業、除草などの専門的な内容や、働くことなど多くの事を教えてもらいました。しかし、ほとんど枝の片付けや除草を行っていましたが、この作業がとても重要なことがわかりました。何気なくやっていた作業も効かず、ただ立っているだけといたしました。しかし、私がどうやったのかわからなかった時、社員の方が優しく教えてくださいました。

まず一日目と三日目に草刈り機の使い方を教えてもらいました。その後、実際にやってみた時は、草刈り機は地面と平行にして使うといふことからエジンのかけた草を左によせるのがなかなかできませんでしたが、自分が担当した場所を全て完成させた時は、すごい達成感があり綺麗になりました。二日目にはマツの剪定を行いました。マツの剪定は、やつたことがなくコツをつかみました。実際にやってみた時は、それが難しかったですが完成イメージを考えて剪定する

●集中力と作業のコツを学ぶ

志村 優輔



う大きさです。始めのうちは、集中してやつでいけますがやついくうちにだんだんと集中が途切れてしまつて作業が遅くなつてしましました。しかし、会社の方々は全然作業のペースも落ちずにそれでいてしっかりと細かな所までやつていてました。

剪定の作業は細かくて、切り過ぎると植え込みの形が悪くなつてしまうのでとても難しい作業でした。しかし、会社の方々は全然作業のペースも落ちずにそれでいてしっかりと細かな所までやつてしまつて作業が遅くなつてしまつました。

なま、また、ぼうきで草を集めることには、ます隣に寄せてから集めないと薬にできるというコツを教わりました。この四日間でたくさん事を学べたのでとても勉強になりました。

●多様な作業体験を授業に生かす

永野 多花

インターフィンフ第一日は、油山、門屋、モリヤ沢に行き、除草しました。最初の仕事は、昨日、会社の方たちが除草した草をゴカキで集めて、トラックに積みました。フレンスについているツルは、剪定サミで切りました。草をカマで刈る時に、慣れていないので力の加減が難しかったです。初日、仕事内容は簡単でしたが、草が多くたので時間がかかってしまいました。

二日目は、藤枝の資材置場に行き、剪定を行いました。私は「コウヒバ」とシラカシを任せられました。コウヒバは、円すい形にではなくてはいけないので難しかったです。

三日目は、藤枝のゴルフ場を行事するので、その準備をしました。会社の方が除草した草をゴカキで集め、トラックに積みました。そして道端に小さな水路を作るために溝を掘りました。

四日目は、静岡ボリテクセンターに行きました。ヒマラヤスギ、カイヅカイブキ、キンモクセイの剪定を行いました。剪定は難しかったけど、「二日目に教えてもらった」とことを思い出してやりました。特にキンモクセイは、丸く刈り込む時

に注意を払いました。この四日間、とても貴重な体験をしました。今後の授業に生かしていきたいです。



●紅葉山庭園の茶文化に触れ充実感を

石川 朋美



一日目は熊手で刈り取り、雑草と芝を引き集める事のくり返しで集中力が必要になり、好きな仕事を始めたことを続けられるのだと思い

ました。紅葉山庭園で茶庭・茶室のじり口や飛び石の位置の意味など知らない事をいくつか教えてもらいました。使ったことがない、刈り込みバサミ、トリマー、芝刈り機を使わせてもらいました。

●地域の方とのコミュニケーションでやりがいを感じて

大槻 友美

この四日間は、私にとってとても貴重な体験となりました。学校とは違った環境の中で、社員の方々と作業をする事に緊張しました。しかしとても優しく接してくれて、楽しく作業をすることができました。

四日間の中ではボックスウッドの植え付け作業がありました。何もなかった場所に緑を入れることで、その場がとても明るくなりました。その場がとても満足

た。竹の加工においてさし竹を均等に切るコツがなかなかつかめなかつたけれど慣れるにつれて段々とコツをつかめてきれいに切れた時と自分達の作った「すだれ」「関守石」を庭園内に設置した時は大変うれしかったです。

キンモクセイ・ツツジ・カイヅカイブキの剪定の仕方も教わり身につけたことをこれからも授業で活かして行きたいと思います。



マンリョウ

感で、やっぱりでした。この作業を行っている最中に、通りかかった方が「きれいになったね」と言ってもらつた時は、本当に嬉しかったです。

造園の仕事はやりがいのある仕事だと思います。四日間学んできましたことを学校の実習の中で行かれていい、と思います。そして、これから多くの技術を身につけて、将来から役立つよう頑張っていきます。



を行ひながら途中で離れて形をしてどこが足りないかを確認することで大切な事がわかりました。透かしでは全ての枝葉がバランスよく綺麗に広がるよう剪定

不要な枝)公園の樹木の種類(場所に適した樹木)雑草の種類・樹木の植栽方法・トリマーの使い方をこの実習で学ぶ事ができた。

●学校でできない経験、充実した四日間

小島
一輝

充実した四日間

と樹形はバラバラで切りすぎててしまつたりボックリ空いてしまい思ひ通りの形にするのが難しかった。しかしやつていく中で上手にできた場所などがあるとともに嬉しくなつてよかつたなあと思えた。トリーマーは最終日に使わせていただいたが予想以上に重く常に回りに注

意を払っての作業でしたが作業の進行スペースも早く手作業よりも広範囲ができるためとても充実したものであつた。

きない経験をさせてもらう事ができ
本当によかったです。

●仕事の達成感を体験して

一日目は剪定の基本をしつかり
教えてもらい学校でわかりずらか

うに時間が決められていないので、気になつた事をどんどん聞く事ができた。またこの日は、潮風に強い樹木などを教えていただいた。

一日目の松富圃地では害虫にはどんな種類がいるのか又どんな症状がでるのかを教えていただいた。三日目は植栽技術を教えてもら



会員名	変更内容	変更後	変更前
静岡観葉(株)	住所	静岡市葵区南沼上3丁目23-34	静岡市葵区南沼上772-7
(株)西野造園	代表者名	西野 元	西野 勢作
(有)杉村造園	代表者名	杉村 清市	杉村 清造
(株)大瀬造園	会社名	(株)大瀬造園	(有)大瀬造園
(株)大瀬造園	代表者名	堀之内一友	堀之内哲夫
天龍造園建設(株)	代表者名	城戸 莞爾	福井 啓介
市川造園(株)	会社名	市川造園(株)	(有)市川造園
市川造園(株)	代表者名	市川 明広	市川 一男

静岡県環境森林部 自然ふれあい室

第4回 しづおか環境・森林 フェアの開催報告

去る十月二十一日から三日の三日間、静岡市駿河区のツインメッセ静岡において、第4回しづおか環境・森林フェアが開催されました。

初日の開会式では、県出納長のあいさつの後、県議会議長・静岡市長の祝辞をいただいての幕開けとなり、連日天候にめぐまれ、来場者は三万五千人を超える盛況なものとなりました。

御出展、協力いただいた企業・団体等の方々には、厚く御礼申上げます。

この催しは、地球温暖化防止対策や循環型社会の構築に向けて、環境ビジネスの振興と森林整備の推進、また消費者のグリーン購入意識の醸成を目的で、平成十一年に「静岡県環境フェア」として開催されてから通算九回目の開催となり、平成十五年からは環境分野と森林分野が一体となつた「しづおか環境・森林フェア」としては四回目の開催となりました。

会場中央のテーマ展示では「食」を切り口に循環型社会を表現し、生産の場としての「里山」をメイン展示に、全体では1.69小間のブース展示がありました。

会場では、「環境技術」や「廃棄物リサイクル」など、目的に応じてゾーンに分けての展示でしたが、森林ゾーンにおいては、森林整備・緑化活動や技術・身近な森林の紹介



会場全景

「銀世界の森観察会」 ～県民の森～

静岡市葵区井川にある県民の森で、「一日の「銀世界の森観察会」を「月曜日(土)～十一日(日)に開催します。

県民の森でハウスに泊まって、ソリ遊びなどの雪遊びを楽しんだり、植物の冬芽を観察したりしながら、真冬の森の中を探検します。普段はなかなか見られない植物の様子や、珍しい動物達を見ることができるかも…。

参加費用は、一組(1~6名程度)一万五千円です。ぜひご参加ください。

○問合せ先 県民の森管理棟
○五四一・二六〇・一二二四

○応募方法
はがきで〒428-0504
静岡市葵区井川五四四・七

井川森林組合 銀世界の森係 まで
真コングール等の表彰式が行われました。

この「しづおか環境・森林エア」は、来年度も十月中旬に予定しています。今回の開催状況を踏まえ、次回開催に向けて企画の充実も図っていきますので、関係機関・団体等の方々には、今年度同様、変わらぬ御協力をお願いします。



銀世界の森を探検します

森の力再生事業の実施状況

平成十八年度から導入した「森林（もり）づくり県民税」を財源とする「森の力再生事業」が始まりました。本

事業は、荒廃した人工林や里山林を県の全額補助により整備するものです。事業主体は、森林組合等の林業事業体のほか、造園業者等を含めた様々な民間企業や地域の団体で、本年度は六億五千万円で九三〇ヘクタールの整備を予定しています。

八月から補助申請の受付を開始し、静岡県造園緑化協会員を含む幅広い事業者の申請がありました。順次審査のうえ補助を決定し、すでに五〇〇ヘクタールを超える荒廃森林の整備が進められています。

次年度以降も事業を実施する予定ですので、関心のある方は最寄りの農林事務所森林整備課にお尋ね下さい。



「浜名湖フラワーフェスタ2007」 の開催について

四月二十七日（金）から二十九日

（日）までの三日間、本県の花と緑

の生産団体や流通・販売関係者、

造園関係者、文化団体等と行政が

一体となって実行委員会を組織し

花と緑の総合イベント「浜名湖フラ

ワーフェスタ2007」を浜名湖ガーデンパークで開催します。

昨年四月に、花博後のはじめての大型イベントとして開催した「浜名湖フラワーフェスタ2006」に続くもので、昨年のフェスタは造園関係の皆様をはじめ多くの方々の御協力により目標の五万人を大きく上回る約六万人の来場者を迎えた。

大いに盛り上がりました。特に「集

いのガーデニングコンテスト」や「庭づくりプレゼンテーション」は浜名湖ガーデンパークならではのイベントで、各出展者の技術やアイデアを結集した作品は、たいへん見応えがあり、また技能五輪競技大会に出場した三組の若い造園技術者の熱気に満ちた実演は、多くの来場者の共感を呼びました。

さて、フェスタ実行委員会では昨年以上に充実したイベントにしようと精力的に開催準備に取り組んでおり、現在、各種コンテストや



（社）静岡県造園緑化協会の出展作品。
多くの来場者で撮影されました。



庭づくりプレゼンテーションの実施風景。
多くの来場者に庭づくりの過程が理解された。



平成18年春 チューリップ祭

まますよう造園関係の皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。●

（問い合わせ先）

浜名湖フラワーフェスタ実行委員会事務局

電話 ○五四二三二二一六七九

（静岡県農業水産部みかん園芸室）

「浜名湖フラワーフェスタ2007」が本県の花と緑の普及・発展に寄与する意義深いイベントとなり展について、是非御検討ください。

県民参加でチューリップ八万球を植え付け ～吉田公園チューリップドリーム～

平成十八年十一月二十六日

（日）、県営吉田公園で、「第3回チューリップ植栽イベント～チューリップドリーム～」が開催されました。

このイベントは、平成十六年に、

秋篠宮殿下が浜名湖花博の名前

継承を務められた御跡でオランダ

から静岡県に寄贈さ

れたチューリップの球

根、五六千球が園内に植え付

けられました。

今年は球根を前回

から五万球増やして

八万球用意し、公募

により五百三人の一般参加者が集まり、

会場の準備や植栽指

導は地域の方々が行

きました。吉田公園では、これまでも、NPO法人すかちやんが園内の花園の手入れを行なう講座などを開催して、県民が公園づくりに関わる機会を提供してきましたが、同法人が指定管理者になつたことで、地城住民が吉田公園の管理運営へより積極的に参加できるようになります。

日曜日には天然酵母パンを販売する喫茶室は天然酵母パンを販

ぜひ、自然に親しむ憩いの場、吉田公園にお越しください。



第3回 チューリップ植栽イベントの様子

